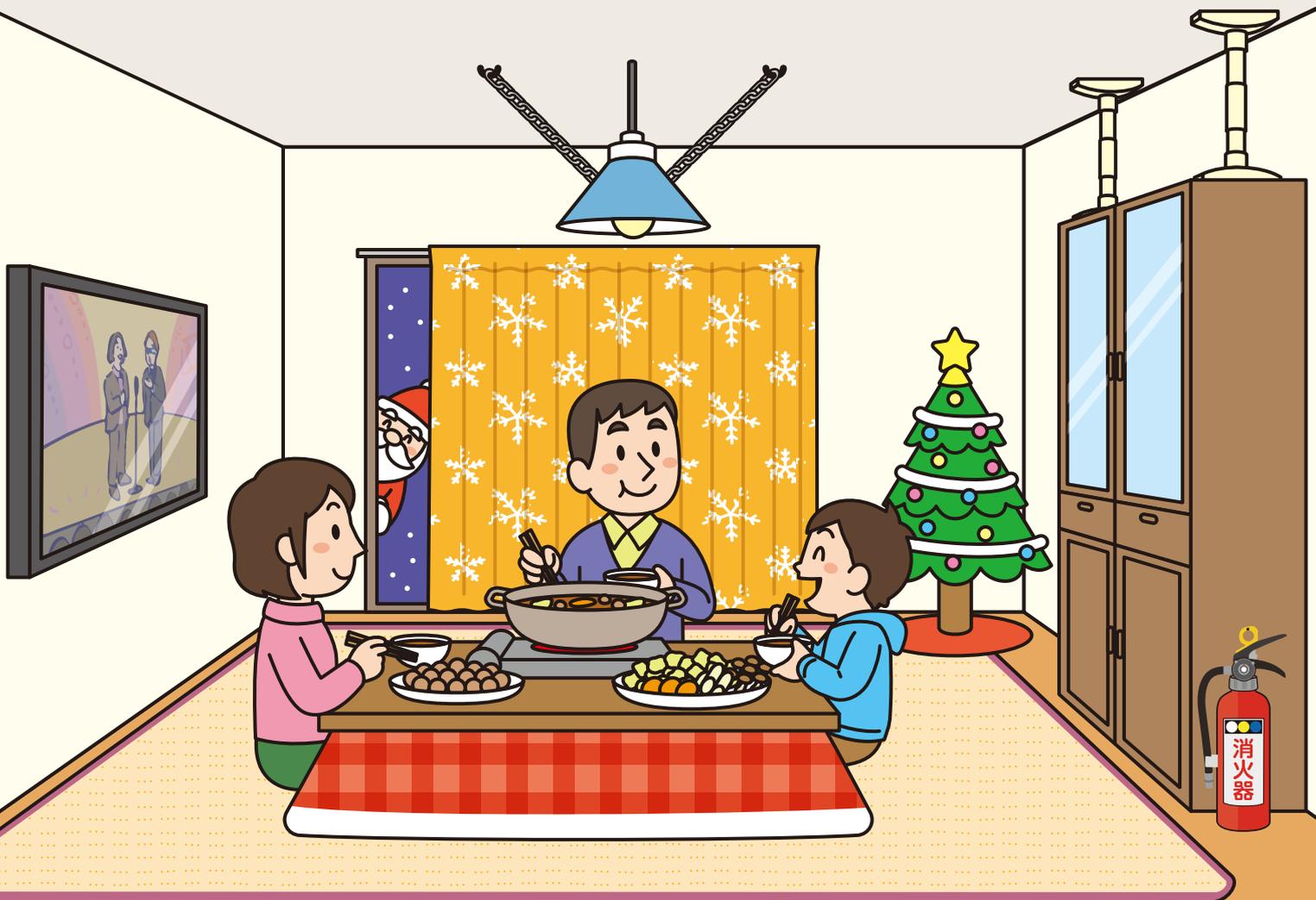




年末には大掃除をする方も多いのではないのでしょうか。大掃除の由来は、「煤払い(すすはらい)」と言われています。昔は、家の中に囲炉裏やかまどがあり、家の中が煤だらけになるため、煤を払い新年を迎えるためです。

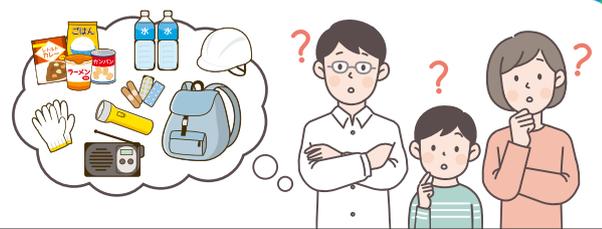
今年の大掃除は、部屋をきれいにするついでに、備蓄品の点検や家具の設置場所や固定方法など家庭の備えを見直してみませんか。もちろん、部屋をきれいに片付けるのも立派な防災対策です。

年末に備えを見直し、安全・安心な新年をお迎えください。



～これからの**防災**を考える～

「無理なく・無駄なく備える」ことで防災も持続可能な取組となります。また、平時と有事をわけず(フェーズフリー)普段使うもの、消費するものを見直すことにより、平時にも役たち有事にも備える事ができ、生活の質も向上するのではないのでしょうか。

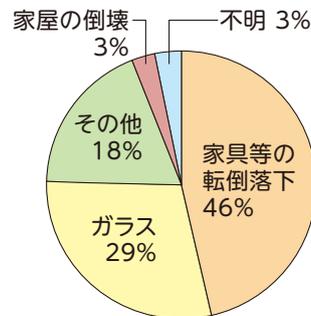


家具の転倒防止 **年忘れ!** 防災 × 大掃除企画

部屋を見渡してみてください。地震の揺れで倒れてきそうな家具はありますか？ 出入口を塞いでしまうような家具はありますか？ 実は、阪神・淡路大震災での負傷原因の第一位は「家具等の転倒落下」によるものでした。転倒した家具にぶつかるだけでなく、出入口が塞がるのも、適切な避難ができなくなり危険です。

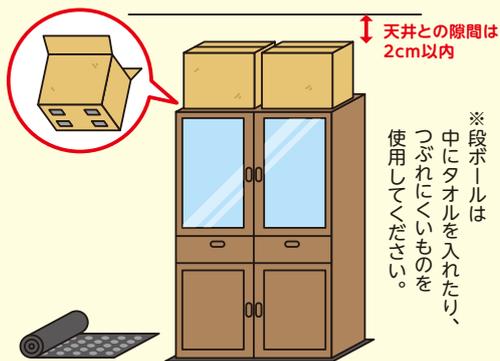
転倒防止のためには、家具と壁を金具で固定することが基本です。

賃貸などで金具固定が難しい場合は以下のやり方も参考に。



日本建築学会「阪神淡路大震災住宅内部被害調査報告書」より引用

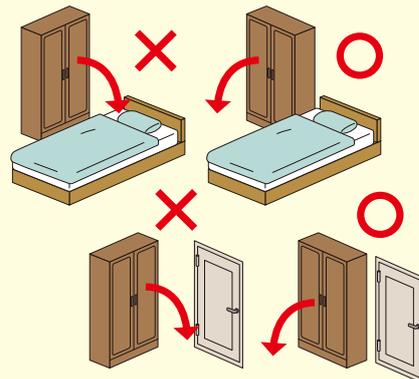
段ボールと滑り止めシートで転倒防止



※段ボールは中にタオルを入れたり、つぶれにくいものを使用してください。

家具の配置はとても大切です。寝ている間は無防備なので、寝室などには重い家具を置かないように。出入口の確保も忘れずに。

家具の配置見直しで安全確保



フェーズフリー 備えない防災

家族でも一人でもカセットコンロで鍋パしてますか？

寒い冬は鍋を囲んで暖まりたいですよね。カセットコンロは災害時に役立つ優れもの。これも立派な備えなんです。パーティで使う紙コップや紙皿は、余ったものをとっておけば、災害時の自宅避難生活にきっと役立ちます。

また、パーティ用にお菓子をかう時も賞味期限の長めのものを選べば、余ったものを災害時に回すこともできます。あなたの防災、ぜひ実践してみてください。

ついでに食材やガスの備蓄もチェック！



フェーズフリーのすすめ



おせち料理は備蓄食？

お正月と言えば、おせち料理。おせち料理は新年の健康や繁栄を祈って歳神さまへ料理を提供し、年が明けてから神様のお下がりとして頂くものです。お正月三が日の間の食事をまかなう事を前提にしている、佃煮や酢の物、煮物など保存がきく料理が詰め込まれています。これって、三が日乗り切る備蓄食みたいじゃありませんか？

普段から保存のきく料理を作っておくのも、フェーズフリーな料理といえるかもしれませんね。



防災ポータルサイト



備える。かわさきマガジン

発行：川崎市危機管理本部危機管理部
☎ 044-200-2894
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
編集：株式会社押田印刷

本マガジンHPはこちらから



公式SNS
フォローしてね！

X (旧Twitter) ▶
@Kawasaki_bousai

